

## フランクリン・テンプルトン、オルタナティブ・クレジット・ブランドを「BSP」へ統合

- ベネフィット・ストリート・パートナーズとアルセントラは、刷新された単一の BSP ブランドに統合されます。
- 今回のブランド統合は、クレジットに特化した統合型のグローバル・プラットフォームを求める顧客ニーズの高まりを反映したものです。
- フランクリン・テンプルトンのオルタナティブ・クレジット事業の運用資産残高は、2026 年内に 1,000 億米ドルを突破する見込みです。
- BSP は、中東およびアジア圏での事業拡大を含む、さらなる成長戦略を策定しています。
- 最新の調査では、機関投資家の 51%が 2026 年にオルタナティブ・クレジットへの配分を増やし、投資戦略を多様化させる意向であることが示されました。
- また、機関投資家の 81%が、パフォーマンス向上のための最重要要素として「オルタナティブ・クレジットへの専門的なフォーカス」を挙げています。

**2026年1月27日** - フランクリン・テンプルトン傘下の米国および欧州におけるオルタナティブ・クレジット運用を担うベネフィット・ストリート・パートナーズ (BSP) とアルセントラは、ベネフィット・ストリート・パートナーズ (以下、「BSP」) にブランドを統合したことを発表しました。

フランクリン・テンプルトンは、オルタナティブ・クレジット分野のパイオニアである BSP とアルセントラを、それぞれ 2019 年および 2022 年に買収していますが、今回の発表は、統合プロセスの最終段階となるものです。本統合は、同アセットクラスの全領域にわたる専門知識を備えた、専門的かつグローバルなクレジット・プラットフォームを求める投資家のニーズの高まりを反映したものです。BSP ブランドへの一本化に伴い、ロゴの刷新とウェブサイトの URL を変更するほか、今週以降、アルセントラの名称を冠する各ファンドは、順次「BSP」<sup>1</sup>へと名称変更を開始します。

また、BSP が本日発表した最新の調査結果（運用資産総額 8 兆ポンドを誇る世界の機関投資家 135 機関を対象に実施）<sup>2</sup>によると、世界の機関投資家の約 93%が、2026 年にオルタナティブ・クレジットへのエクスポージャーを「維持 (42%)」または「拡大 (51%)」する意向であることが明らかになりました。主な理由として、分散投資の強化 (85%) や、従来の債券投資を上回るト

<sup>1</sup> 出所：BSP の新ウェブサイトはこちらをご参照ください：<http://bspcredit.com/>。また、新ロゴの高解像度データをご希望の場合は、個別にお問い合わせください。

<sup>2</sup> 出所：本調査は BSP の委託を受け、コアデータ・リサーチ (CoreData Research) 社が 2025 年 11 月から 12 月にかけて実施したものです。対象は、オーストラリア、バーレーン、カナダ、中国、デンマーク、フィンランド、フランス、ドイツ、イタリア、イスラエル、日本、ノルウェー、カタール、サウジアラビア、韓国、スウェーデン、アラブ首長国連邦 (UAE)、英国、米国の機関投資家です。



ータル・リターンへの期待（81%）が挙げられています。また、投資家がオルタナティブ・クレジットへの配分を拡大・多様化しているなか、81%の投資家が「特定のアセットクラスへの専門特化」こそが力強いパフォーマンスを実現する鍵であると考えています。

さらに、今後 1 年間において、47%の投資家がインフラストラクチャー・デットへのエクスポージャーを増やす意向を示しており、最も人気の高い戦略となっています。次いでダイレクト・レンディング（39%）、アセットベース・レンディング（35%）、スペシャル・シチュエーションおよびディストレスト・デット（30%）、商業用不動産ローン（28%）、ローン担保証券（CLO）（16%）と続いています。

こうした強力かつ多様な需要に応えるため、BSP は今後 5 年間で、オーガニックグロースと買収や資本提携などのインオーガニックグロースを組み合わせた成長戦略を掲げています。既存サービスを補完する魅力的な機会があれば、さらなる買収の可能性も視野に入れています。これには、アジアや中東といった新市場への進出や、オルタナティブ・クレジットの全領域における隣接分野への拡大が含まれます。

BSP の最高経営責任者（CEO）であるデビッド・マンロウは次のように述べています。

「BSP とアルセントラは、オルタナティブ・クレジット分野のパイオニアとして互いを補完し合う関係にあり、複数の市場サイクルを通じて投資家を支援してきた長年にわたる成功の実績があります。そのため、両ブランドの統合は、私たちのグローバル・プラットフォームを強化するための自然な次なるステップです。当社は近年、プラットフォームの統合を加速させており、すでに世界トップクラスのリサーチ、ディストリビューション、さらにはオペレーション・チームやインフラを共有しています。

極めて重要な点として、今回のブランド統合により、当社のグローバル・プラットフォームと機関投資家向け機能を活用し、新たなアセットクラスや世界各地の市場へのエクスポージャーを含む、クライアントの進化し続けるオルタナティブ・クレジットのニーズに応え、投資家のあらゆる志向をサポートするための最適な体制が整いました」

フランクリン・テンプルトンは、拡大するオルタナティブ・クレジット・プラットフォームの統合を進める一方で、そのグローバルな枠組みの中で、特定のローカル市場や注力分野において、明確に差別化された運用ケイパビリティを引き続き投資家に提供することに邁進しています。その一例として、最近では 2025 年 10 月に欧州全域のローワー・ミドルマーケット（中堅中小企業市場）向けダイレクト・レンディングに特化しているアペラ・アセット・マネジメント（以下、「Apera」）が傘下に加わりました。

現在 Apera は BSP の一部となり、事業統合後の全体の運用資産は、コーポレート・クレジット戦略で 780 億米ドル、商業用不動産ローン戦略で 140 億米ドルです<sup>3</sup>。なお、フランクリン・テンプ

<sup>3</sup> 2025 年 12 月末時点の予想値



ルトンのオルタナティブ・クレジット事業 3 社を合わせた運用資産残高は、2026 年内に 1,000 億米ドルを突破する見込みです。

BSP の欧州共同ヘッド兼ストラクチャード・クレジット部門責任者であるキャシー・ベヴァンは、次のように述べています。

「クライアントからのメッセージは明確です。拡大を続けるオルタナティブ・クレジット領域全体において、最高の投資機会にアクセスしたい、かつ、それを信頼できる単一のグローバル・パートナーに管理してほしいというものです。つまり、数十年にわたるオルタナティブ・クレジットの経験、長年培ってきた信頼関係、そして現場での専門知識を融合させ、投資家の目標達成を支援できる、多角的でありながらも統合されたプラットフォームを提供することが求められているのです」

==

#### ペネフィット・ストリート・パートナーズについて

ペネフィット・ストリート・パートナーズ (BSP) は、920 億米ドル<sup>1</sup> (Apera を含む) の運用資産残高を擁するオルタナティブ・クレジット分野のパイオニアです。深い専門性、長年にわたる信頼関係、そしてグローバルな展開力を通じて、魅力的なリスク調整後リターンの提供を追求しています。フランクリン・テンプルトンの完全子会社である BSP は、クレジット領域に特化した運用を行っています。規律あるソリューション指向のアプローチにより、市場サイクルや地域を問わず投資機会を創出します。同社は、プライベート・デット、不動産担保ローン、ストラクチャード・クレジット、リキッド・ローンなど、多岐にわたる戦略を管理しています。詳細については、<http://bspcredit.com/> をご覧ください。

<sup>1</sup> 2025 年 12 月末時点の予想値

#### フランクリン・テンプルトン・グループについて

フランクリン・テンプルトン・グループは、米国カリフォルニア州サンマテオに本部を置くフランクリン・リソーシズ・インク ([Franklin Resources, Inc. \[NYSE: BEN\]](#)) および傘下の子会社で構成されたグローバルな資産運用会社グループです。当グループは 75 年以上の資産運用経験を持ち、世界の主要な金融市場を含む 35 カ国以上に拠点を構え、150 カ国以上のお客様にサービスを提供しています。長い歴史の中で、数々の専門性の高い運用マネジャーを傘下に迎え、運用ケイパビリティを拡充することで、株式、債券、マルチアセット・ソリューション、オルタナティブの分野の卓越した専門性と運用戦略へのアクセスを可能にしてきました。世界中に 1,500 人以上の運用プロフェッショナルを擁するフランクリン・テンプルトンという 1 つのブランドを通じて、世界中のお客様の幅広いニーズに応じたカスタマイズ・ソリューションを提供しています。2025 年 12 月末日現在の運用総資産は約 1.68 兆米ドル (約 263 兆円<sup>2</sup>) です。

<sup>2</sup> 出所：フランクリン・テンプルトン。1 米ドル = 156.56 円で換算。



## フランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社について

フランクリン・テンプルトンの日本法人であるフランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社は、1996年の日本進出以来、日本の投資家の皆様の資産運用ニーズに応じた運用商品やサービスを提供し、ひたむきに前進してきたことを誇りとっています。今後もフランクリン・テンプルトン・ジャパンは、グローバルな資産運用会社として、25年以上にわたる日本での事業経験から得たノウハウを活かし、日本の投資家の皆様の長期的な資産形成に貢献することを目指すとともに、お客様との長期的な信頼関係を築いてまいります。

詳細については、<https://www.franklintempleton.co.jp/> をご覧ください。

## フランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第417号

加入協会：一般社団法人投資信託協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／一般社団法人第二種金融商品取引業協会

==

### ご注意事項

本コミュニケーションには、将来予想に関する記述が含まれる場合があります。これらの記述は、将来の事象または業績に関する当社の現時点での期待、見積りおよび予測を反映したものであり、一定の前提に基づいています。将来予想に関する記述には、当社の管理の及ばないものを含むリスク、不確実性およびその他の要因が含まれており、実際の結果が明示または暗示された内容と大きく異なる可能性があります。「予想する」「信じる」「期待する」「意図する」「計画する」「予測する」等の用語は、これらの将来予想に関する記述を識別するために用いられます。当社は、法令により求められる場合を除き、新たな情報、将来の事象その他いかなる理由によっても、将来予想に関する記述を更新または修正する義務を負いません。

- 当資料は、フランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社（以下「当社」）が当社および当社のグループ会社（フランクリン・リソーシズ・インクとその傘下の関連会社を含みます。）の説明資料として作成したものであり、特定の金融商品等の推奨や勧誘を目的とするものではありません。
- 当資料は、当社が信頼性が高いと判断した各種データ等に基づいて作成したものですが、その完全性、正確性を保証するものではありません。
- 当資料のデータ、運用実績等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。また、当資料に記載される内容・見解は作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。
- 当資料に指数・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権、その他一切の権利は、その発行者に帰属します。



- 投資リスクには、金融商品・デリバティブ取引等の価格変動、金利変動、為替変動、発行体の信用リスク、運用に関する取引相手方の決済不履行等、流動性リスク、経済・政治情勢等の影響等があり、また、デリバティブ取引に関する損失が委託証拠金等を上回る可能性があります。投資リスクはこれらに限定されるものではありません。したがって、投資元本は保証されているものではなく、投資元本を割り込み、損失を被る場合があります。
- プライベート・デットやローンなど非公開市場で取引されるクレジット投資を主な投資対象とします。これらの投資には、高い流動性リスクや情報の非対称性など、プライベート市場特有のリスクが伴います。
- 非公開市場の投資対象は、公開情報が限られているため、その価値評価が困難です。多くの場合、借り手の開示情報に依存せざるを得ず、その情報の正確性や完全性は保証されません。情報の不実や欠落は投資価値に重大な影響を及ぼす可能性があります。
- 非公開企業への投資は、公開企業への投資と比較して、利用可能な情報の不足や流動性の欠如など、追加的なリスクを伴います。
- ダイレクト・レンディングは公開市場に上場されず、換金性が著しく制限されます。流通市場の発展も見込まれないため、投資家の皆様は長期的な投資をご検討ください。
- 非流動的で取引の少ない非公開証券に投資する場合があります。そのため、運用者が適正な価格で証券を売却することや、流動性ニーズに応じて迅速に売却することが困難になる可能性があります。
- ダイレクト・レンディングは、一般的に価格変動が大きく、流動性が低く、デフォルト・リスクが高くなります。多くの場合、投資非適格または無格付けの企業への貸付がリターンの源泉となるため、景気後退時など企業の業績や資金繰りが悪化する局面では、投資元本が大きく毀損し、著しいマイナスリターンとなる可能性があります。
- ご投資にあたっては契約締結前交付書面等の内容を十分にご確認ください。
- 当資料は当社の許可なく複製・転用することはできません。

==

#### 当プレスリリースに関するお問い合わせ先

##### Sam Turvey

Global Head of Communications, BSP

[s.turvey@bspcredit.com](mailto:s.turvey@bspcredit.com)

+44 (0) 782 783 6246

##### AIM B2B (BSPに関する広報代行)

[team.bsp@aim-b2b.com](mailto:team.bsp@aim-b2b.com)



---

フランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社

[FTJPR@franklintempleton.com](mailto:FTJPR@franklintempleton.com)

03-5219-5761

CDR Consultancy (フランクリン・テンプルトン・ジャパンに関する広報代行)

[Franklin\\_Templeton\\_Japan\\_PR@citigatedewerogerson.com](mailto:Franklin_Templeton_Japan_PR@citigatedewerogerson.com)

---